

【北海道札幌市】【北海道労働局・ハローワーク】 札幌市が行う生活保護受給者向けのセミナーに、 ハローワークが講師として参加

【課題・目的】

生活保護受給者の中には、就職活動を行うにあたっての基礎的なコミュニケーション能力や生活習慣が身につけていない者もいる。そのため、市やハローワークなどの関係者が集まり、基礎能力の形成支援から就職活動に向けたスキル向上まで、一体的に支援していくことが重要。

【実施概要】

◆セミナーの実施

セミナーは2部構成となっており、就職に向けた意欲の向上や知識の習得を図るため市が実施する「**スキルアップセミナー（自立支援）**」と、ハローワークの相談員が講師となって就職活動を行うための実践的なスキル（履歴書作成など）の習得を図る「**スキルアップセミナー（就労支援）**」を実施。（全12回）

◆セミナーを活かした就職支援

セミナーの受講状況（発言頻度、出席状況等）を踏まえ、関係者による**ケース会議**や**情報交換（毎回のセミナー終了後）**を実施。当該情報を保護課の援助方針やハローワークによる就職支援の方針に活かすことで、受講者の計画的・効果的な支援につなげていく。

【役割分担】

【札幌市】

- ◆民間事業者への事業委託
- ◆保護課での対象者選定
- ◆セミナー中から就職決定に至るまでのカウンセリング

【労働局・ハローワーク】

- ◆セミナーの講師として
- ◆求人情報の提供
- ◆応募書類の書き方指導
- ◆面接練習

【効果】

◆セミナー参加者数（うち就職者数）

平成24年度：54名（うち就職者数15名）

平成25年度：59名（うち就職者数23名）



<札幌市コメント>

保護課、ハローワーク、セミナー受託事業者、あいワークの4者の緊密な情報共有に配慮することで、受給者の早期就職・自立に結びつけている。

<労働局コメント>

ハローワークの相談員が講師として参加し、各区保護課・参加者との連携を図ることで、参加者のより詳細な情報を活かした支援につなげていくことが可能となった。